

とくていひえいりかつどうほうじん

都道府県名：愛知県 団体名：特定非営利活動法人

ちきゅうおんだんかたいさくちいききょうぎかいてこねつとあんじょう
地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう

地域

本団体の拠点とする安城市は、愛知県名古屋から南東 30km に位置する、人口 19 万人ほどの市である。この地はかつて「安城ヶ原」と呼ばれる荒地だったが、幕末期の代官「都築弥厚」らの尽力により、明治 13 年「明治用水」が完成した。それ以来、安城市は「日本のデンマーク」と称されるほど農業が発展し、現在は工業の発展も目覚ましく、明治用水は安城市発展の礎となった。

経緯

平成 22 年 11 月、市民に対して環境に対する意識の高揚を図る啓発活動や安全で持続可能な地域の環境保全と創造に寄与することを目的として本団体を設立した。

平成 24 年 3 月、明治用水土地改良区初代理事長「岡田菊次郎」が残した、「水を使う者は自ら水をつくれ」のこたばを受け継ぎ、「明治用水」の源流である矢作川上流の水源の森を保全するため、「矢作川水源の森トラストプロジェクト事業」を発足した。

功績内容

プロジェクト発足後、10 年間にわたる募金活動で矢作川水源の土地、長野県下伊那郡根羽村所有の山林約 12 ヘクタール(1,200 万円)を取得(令和 4 年 9 月)。年間 3～5 回程度、矢作川水源の森観察会、安城市と根羽村の親子川遊びを通じた交流会、明治用水の水を使った「生き物共生田んぼ」における魚・生き物調査・観察会を実施している。また、水源の森を保全することの大切さを学ぶパンフレット、水源の森の水の重要性を広報する DVD を作成し、市民や市内の中学校に配布してきた。

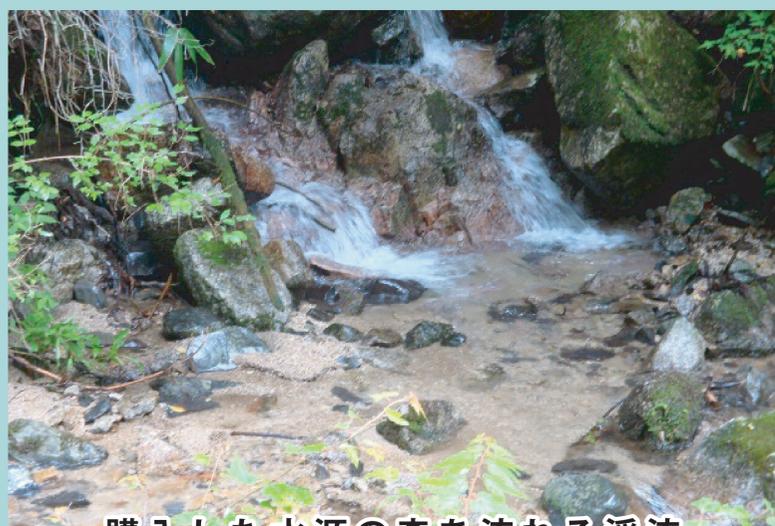
こうした活動により、広く安城市民に対して水資源を確保することの重要性を啓発する活動や根羽村との交流を深める活動を通して矢作川流域社会づくりに貢献してきた。



矢作川水源の森プロジェクトフォーラム



矢作川水源の森観察会



購入した水源の森を流れる溪流



根羽村桧原川で生き物観察会